

分科会意見に基づく修正箇所一覧

No.	分野	基本 施策	施策	意見	対応
1	全体			全体を通じた意見になるが、アウトプット指標とアウトカム指標が混在している。政策により、アウトカム指標の設定が難しいものもあると思うので、やむを得ないと考えられるが、できれば、アウトカム指標で統一して設定できるとよい。また、巻末に指標の説明や設定根拠は載せたほうがよい。	ご意見を踏まえて、各基本政策のページからは客観指標の記載は無くし、巻末資料としてまとめて指標を掲載するようにします。また一覧にする際には、指標名と実績値・目標値だけではなく、指標の定義も併せて掲載するようにします。
2				指標については、個別計画から持って来たりすると思うので、設定根拠は個別計画等で確認する形式でも問題はないと思う。	
3	全体			「客観指標」について、例えば「地籍調査の進捗率を81%から82%にする」とあるが、これを見ても市民は良く分からない。市民が見て分かりやすいと感じるものが良い。	
4	全体			「客観指標」は行政側の進捗管理の話で、市民に訴求するのは「well-being指標」という区分けでもよいと思う。	
5	全体			基本政策の各ページに客観的指標を載せているが、これには強く反対する。これは古いやり方。政策は一対一対応でないため、理屈上あっていない。指標は巻末に一覧表示にして、これらの政策を推進して、得られる代表的なアウトカムの指標を載せればよい。ただ、ひと昔前にはこれが流行っており、頻繁に変更しても良くないので、こういう形式でもよいと思うが、再度検討を。	
6	全体			誰目線でこれをつくっているのか。絵があって、イメージが湧くとかの方が分かりやすい。最終的には、市民がこれを見てがんばりたいと思うかどうか重要な視点ではないか。	絵などのデザインについては、市民や関係者の皆様に見やすい冊子となるよう、最終的に外部にレイアウト等のデザインを委託しますので、その際の参考にさせていただきます。
7	全体			「政策の背景」の表題が、「施策名」と同様になっているものがある。現状に課題があり、それを改善するために施策を行うという作りであるため、政策の背景を端的に表す表題に見直すべき。	計画の論理構成として委員ご指摘のとおりですので、各ページの構成として「現状や課題の認識」から「施策」への流れが明確になるよう、政策の背景の表題を全件見直し、変更が必要な箇所について修正しております。
8	全体			「推進」と「促進」の使い分けについて。行政が進めていくものは「推進」、市民の行動変容を促すようなものであれば「促進」としたほうがよい。 ※基本政策3の施策（2）主な取組5点目「自転車乗用ヘルメットの着用推進」の場合は、市民の行動変容を促すものであるため、「推進」ではなく「促進」と記載するなど。	ご意見を踏まえ、以下の3つの取組を修正します。 ①分野4 基本政策4 施策（3）主な取組2点目 【修正前】野菜の摂取量増加の取組やベジファーストの推進 【修正後】野菜の摂取量増加やベジファーストの促進に向けた取組の推進 ②分野5 基本政策2 施策（2）主な取組3点目 【修正前】住宅用火災警報器の適正な維持管理の推進 【修正後】住宅用火災警報器の適正な維持管理を促す啓発広報の強化 ③分野5 基本政策3 施策（2）主な取組5点目 【修正前】自転車乗用ヘルメットの着用推進 【修正後】自転車乗用ヘルメット着用促進に向けた啓発活動の推進
9	全体			用語の解説または簡単な補足（かっこ書きでもOK）を入れてほしい。自分が検索した言葉の例は以下です。 コンパクト・プラス・ネットワーク型、自伐型林業、プレコンセプションケア、人生会議（ACP）、インクルーシブ遊具、PPP/PFI事業、居住誘導区域、グリーンインフラ	巻末資料に用語解説を入れる予定です。

分科会意見に基づく修正箇所一覧

No.	分野	基本 施策	施策	意見	対応
10	全体			用語の使い方が明確か（正しいか）確認して欲しい。 例：ICT、DX、AI、AXを言葉の定義を明確にして、使い分けしているか確認して欲しい。統一できるものは統一し、分けるものは簡単な解説を入れて欲しい。	言葉の定義については巻末資料に用語解説を入れる予定です。 それぞれの使い方を再度検討した結果、使い分けは現状の表記で問題ありませんでしたが、「DX」については2か所で「DX化」と表記していたため、以下のとおり修正します。 ①分野1 基本政策2 政策の背景 1 点目 表のタイトル 【修正前】DX化に向けた取り組みについて（R7企業実態調査） 【修正後】DXに向けた取組について（R7企業実態調査） ②分野5 基本政策2 施策（1）主な取組6点目 【修正前】中東遠消防指令センターのシステム更新や「Live119」の活用など消防現場のDX化の推進 【修正後】中東遠消防指令センターのシステム更新や「Live119」の活用など消防現場におけるDXの推進
11	5つの安心プロジェクト			「未来と仕事の安心と若者に選ばれる魅力づくり」について。 タイトルで「若者」を対象にしつつ、その後、「誰からも選ばれる」、「若者や女性に選ばれるまちづくり」と対象が拡大していて、どこを重点的に対象としているかが分からない。対象を明確にする必要があると考える。	ご意見を踏まえ、キャッチコピーと内容を修正します。 【キャッチコピー：修正前】～誰もが活躍できる、誰からも選ばれる、未来に希望が持てるまちづくり～ 【キャッチコピー：修正後】～誰もが活躍できる、未来に希望が持てるまちづくり～ 【内容：修正前】雇用の安定と活躍の場の創出など、若者や女性に選ばれるまちづくり 【内容：修正後】雇用の安定と活躍の場の創出など、若者に選ばれるまちづくり
12	1	1	2	個人農家が減り、法人が広い面積を担って大規模農業化しているが、畦畔や法面、用水路の管理などもついてくるため、面積が大きくなってくると、そういった諸々の管理が負担であり、課題。	委員ご指摘のとおり、農業経営の規模拡大に伴い、農地そのものの管理に加え、畦畔や法面、用排水路などの維持管理負担が増加していることは課題であると認識しています。農業法人等の担い手に対し、機械・施設整備や農地集積の支援、多面的機能支払交付金を活用した地域ぐるみで農地を保全する活動の支援などを行っていますが、今後も地域や担い手の負担軽減につながる取組を関係機関と連携しながら進めてまいります。 ご意見を踏まえ、主な取組に以下を追加します。 ・地域ぐるみで行う農地保全活動を支援
13	1	2	3	地場産業のコーデロイは、協同組合からも企業が抜けていっており、本気で復興させようと思ったらかなりの労力が必要。ブランド価値を上げることで、やってみたい人が出てくる。工程を見直すなど、残すために何をしたらよいのか検討することが重要。また今までのような細分化された分業形態の維持は厳しいので、一体的な生産体制を作ったり、AIの活用やロボットを活用して生産体制を抜本的に変えるのも面白い。大企業の力を借りても良い。	委員ご指摘のとおり、繊維産業においては、事業者数の減少や担い手不足などの課題があるものと認識しています。このため、市では、繊維産業振興のための関係団体の運営支援に加え、展示会への出展や首都圏デザイナーの産地視察受入れなど、県繊維協会とも連携しながら魅力発信に取り組んでいます。AIやロボットの活用については、セミナーの案内や専門家とのマッチング支援に取り組んでおり、今後より強化を図ります。また、担い手の確保・育成に向けた取組について、事業者のニーズを踏まえ、関係機関と連携しながら対応していきます。 ご意見を踏まえ、主な取組を修正します。 【修正前】地場産業に関する“ものづくり”技術の発信と人材の育成 【修正後】地場産業に関する“ものづくり”技術の発信と人材の確保・育成

分科会意見に基づく修正箇所一覧

No.	分野	基本 施策	施策	意見	対応
14	1	3	3	大企業のOBが多く住んでいるのは強み。能力のあるOBが社会参加する場をつくり、ノウハウを地域に還元できる仕組みを作るのがよい。	磐田市では現在、県が設置する静岡県プロフェッショナル人材戦略拠点等と連携し、高度な知識や経験を有する企業OB等の活用を進めています。今後も市内事業者に対し、企業OB等が持つ高い技術や知見、ノウハウとのマッチングを支援し、経営課題の解決等につながる取組を推進していきます。 ご意見を踏まえ、施策のリード文の修正と主な取組を追加します。 【リード文修正前】子育て世代、外国人、高齢者や障がい者など、誰もが能力を発揮して働き続けられる就労環境の整備を推進します。 【リード文修正後】子育て世代、外国人、高齢者、企業OBや障がい者など、誰もが能力を発揮して働き続けられる就労環境の整備を推進します。 【主な取組に追加】・技術・知見を持つ企業OBと課題を抱える中小企業等とのマッチング支援
15	2	1	3	外国人の自治会活動への参加やごみだしの問題などがある。日本人も外国人も地域のルールやマナーを守って一緒に地域づくりをしていくことが今後必要だと感じるため、そういった趣旨を主な取組に含めてほしい。 ただし地域のルールを守ることに關しては、正論を言うことも大事だが、知らない人にいきなり言われても反発してしまうところもあると思うので、まずは関係づくりをしっかりと行うことが大切。	ご意見を踏まえ、主な取組を修正します。 【修正前】 ・外国人市民へのニーズに応じた情報提供や日本語学習機会の提供 ・やさしい日本語の普及啓発や翻訳通訳支援など日本人市民による歩み寄り支援の推進 【修正後】 ・日本人と外国人が信頼を築き、共に地域のルールを守る多文化共生の推進 ・やさしい日本語×ICTの啓発と外国人のニーズに応じた情報や日本語学習機会の提供
16	2	1	3	「日本人市民による歩み寄り支援」というのは、上から目線を感じる。「日本人市民」という表現は日本国籍を持つ人と、そうでない人を分けるために使われていると認識しています。共生社会を目指すのだから、表現にも差別や偏見を感じさせないものを望む。	
17	2	1	3	国籍の違いだけではなく、同じ日本人同士でも、神社の祭りや地域行事に対する考え方が大きく異なっているため、多様な価値観を認め合うことが重要。	
18	2	1	3	「インクルーシブ教育」の記載があるが、「誰もが同じ場所で」というのはかなり高い目標。大阪では、かなり重度な子でも同じ教室で学んでいるところもあるので、常に同じ場所を目指すわけではないのであれば、書き方や表現を修正したほうがよいのではないか。	本市では、市内に特別支援学校ができることをきっかけに、同じ地域のなかで、共に学ぶという共育の環境を整えることにより、多様性を尊重した「共生・共育」を進めていくことができないかと考えています。「県立特別支援学校」の名称は記載しませんが、いただいたご意見を踏まえ、主な取組を修正します。
19	3	—	—	県立特別支援学校について、特別支援学校（県立）が豊田北部小学校跡地に開設予定。見学に行った際に感銘を受けた。そのあたりをどこかに記載できればと思う。県立だが、市との関わりを含めて項目として加えていただければと思う。	【修正前】国籍や障がいの有無に関わらず、誰もが同じ場所で学べるインクルーシブ教育の推進 【修正後】国籍や障がいの有無に関わらず、誰もが共に学べるインクルーシブ教育の推進
20	2	1	4	背景の「新たな人権問題の出現」で、「差別や偏見の解消、こどもの権利の尊重など」とあるが、背景なので「解消」や「尊重」など目的にあたるような表現は少し違和感があるので修正したほうがよい。	ご意見を踏まえ、政策の背景の前段部分を修正します。 【修正前】 SNSの普及により、ネット上の誹謗中傷やプライバシーの侵害などに加え、差別や偏見の解消、こどもの権利の尊重など、人権を取り巻く課題は多様化しています。 【修正後】 SNSの普及により、ネット上での誹謗中傷やプライバシーの侵害といった新たな人権侵害が発生するなど人権を取り巻く課題は多様化しています。

分科会意見に基づく修正箇所一覧

No.	分野	基本 施策	施策	意見	対応
21	2	1	—	共創への取組の3点目、「～差別や偏見のない社会づくりにしよう」とあるが、「づくり」は不要。	ご意見を踏まえ、共創への取組を修正します。 【修正前】人権問題に関心を持ち、差別や偏見のない社会づくりにしよう 【修正後】人権問題に関心を持ち、差別や偏見のない社会にしよう
22	2	2	4	「市政参画の推進」について、「～市民が市政に対して提言できる機会の充実を図ります。」となっているが、提言で終わってしまうよりも、一緒にやってみようという気持ちになるような表現に修正したほうがよい。	ご意見を踏まえ、施策のリード文を修正します。 【修正前】市民の市政参画を促進するため、対話の機会の充実や、市政情報の戦略的な発信、市民が市政に対して提言できる機会の充実を図ります。 【修正後】市民の市政参画を促進するため、対話の機会の充実や、市政情報の戦略的な発信を図るとともに、市民の多様な声を反映し、ともにまちづくりを推進する機会の充実を図ります。
23	2	3	2	ラグビー選手は、活動期間が短い。セカンドキャリア支援も大事。	セカンドキャリア支援については本市としても課題と認識しているため、主な取組に「スポーツ選手のセカンドキャリア支援に向けた調査・検討」として記載しており、今後どのような支援ができるか検討を進めていきます。 またポニータ選手による小学校訪問など地域でポニータを応援する取組を行っていますが、ポニータの選手に限らず、スポーツ選手へのさらなる支援に向けて調査・検討を進めていきます。
24	2	3	2	女子サッカーのポニータの選手は民間企業に勤めながら練習している。こうした選手も地域で応援できるとよい。	いただいたご意見を踏まえ、スポーツ選手のセカンドキャリアだけに限定せず、スポーツ人材の様々な支援ができるように主な取組を修正します。 【修正前】・スポーツ選手のセカンドキャリア支援に向けた調査・検討 【修正後】・スポーツ人材の競技環境向上・将来支援などに向けた調査・検討
25	2	3	2	元プロスポーツ選手の知名度を活用して、広告塔になってもらうような視点も大切にするとよい。	郷土愛の醸成や魅力発信など、本市ゆかりの元プロスポーツ選手を活用したシティプロモーションの推進を実施しているため、いただいたご意見を踏まえ、主な取組に以下を追加します。 ・スポーツの特色や魅力、知名度を活用したシティプロモーションの推進
26	2	5	1	「推し活」文化の活用。インフルエンサーも活用し、コアなファンにも刺さる情報が提供できると良い。	ご意見を踏まえ、主な取り組みを修正・追加します。 【修正前】 ・本市の魅力や地域資源の発掘とターゲットに合わせた積極的な情報発信 【修正後】 ・インフルエンサーや地域で活躍する人材と連携した本市の魅力や地域資源の発掘 ・ターゲットの興味・関心に応じた効果的な情報発信の推進
27	2	5	1	行政は全ての分野の情報をフラットに発信する必要があるので情報過多になりがち。興味ない情報が多いとフォロワーが離れていってしまう。	
28	2	5	1	シティプロモーションの観点からは、他市町から通学している高校生に磐田の歴史や文化、産業を知ってもらって磐田に愛着をもってもらうことがUターンにもつながるのではないかな。	
29	2	5	2	市内観光ができて、目的地以外にも寄ってくれるとよい。点ではなく、面での移動導線を意識。	
30	3	1	—	「施策と主な取組」に記載の取組の順番について、ライフステージに合わせた時系列の記載になっているほうが読みやすいので、記載の順番を再度検討してほしい。	ご意見を踏まえ、主な取組の記載の順番を時系列に沿った順番に修正します。

分科会意見に基づく修正箇所一覧

No.	分野	基本 施策	施策	意見	対応
31	3	1	—	書き方の問題だと思われるが、子育て世帯向けなのか企業向けなのか、これをどの時期に読めばよいか。自分たちが生活していく上で、どこを見ればよいか前後しているので、わかりやすくした方がよい。文字数は抑えた方がよい。	ご意見を踏まえ、主な取組の記載の順番を時系列に沿った順番に修正するとともに、一部主な取組の表現を修正します。 【修正前】「ひと ほんの庭 にこっと」や子育て支援センターなど、親子で安心して過ごせ、地域とのつながりを持てる場の充実 【修正後】子育て支援センターなど、親子で安心して過ごせ、地域とのつながりを持てる場の充実
32	3	1	—	「Topics」の中で、「女性相談」とあるが、男性でも相談したい人はいる。夫がメインで子育てをしている人もいると思うので、細かい言葉の違いが気になる人もいるので、表現を検討したほうがよい。	ご意見を踏まえ、Topicsを相談窓口を強調した表現に修正します。 【修正前】こども若者家庭センターを設置し、母子保健と児童福祉、若者相談、女性相談が連携した支援体制を整備 【修正後】こどもや家庭を支える身近な窓口として「こども若者家庭センター」を設置し、切れ目のない支援体制を整備
33	3	1	1	プレコンセプションケアの言葉の意味など、分からない人も多いので、記載方法を考えてほしい。	ご意見を踏まえ、主な取組を修正します 【修正前】・プレコンセプションケアの普及啓発 【修正後】・将来の妊娠に向けた取組（プレコンセプションケア）の普及啓発
34	3	1	1	リード文で「企業や関係機関と共創し」とあるが、いきなり共創と言われると一般市民からすると少しハードルが高い。連携の積み重ねから次第に共創に繋がっていくと思うので、ここの表現は「連携」のほうが良いと思う。	ご意見を踏まえ、施策のリード文を修正します。 【修正前】企業や関係機関と共創し、妊娠期から出産・子育てまでの切れ目のない支援を進めることにより、安心して子育てできる環境を整えます。また、将来のライフプランに応じた健康支援も推進します。 【修正後】企業や関係機関と連携し、妊娠期から出産・子育てまで切れ目のない支援を進めることにより、安心して子育てできる環境を整えます。また、将来のライフプランに応じた健康支援も推進します
35	3	1	2	主な取組2つ目の「妊婦のための支援給付金や中学校入学時の家計支援等の実施」について、ライフステージが異なるので、分けて記載した方がよい。	ご意見を踏まえ、主な取組を修正します 【修正前】・不妊等治療費助成の実施 ・妊婦のための支援給付金や中学校入学時の家計支援（新中学生応援事業）等の実施 【修正後】・不妊等治療費の助成や妊婦のための支援給付金の実施 ・中学校入学時の家計支援（新中学生応援事業）等の実施
36	3	1	2	主な取組7つ目の「仕事と育児の両立に向けた～」の部分は、子育ての分野であるため、「仕事」と「育児」の記載の順番を入れ替えて「育児と仕事の両立に向けた～」に修正すべき。	ご意見を踏まえ、主な取組を修正します。 【修正前】仕事と育児の両立に向けた企業の職場環境・体制整備の促進 【修正後】子育てと仕事の両立に向けた企業の職場環境・体制整備の促進 ※「政策の背景」と「共創への取組」にも同様の表記箇所があったため修正。
37	3	1	3	主な取組2点目で、保育サービスについて記載のところに、並列で児童クラブの記載があるので、分けて記載した方がよい。	ご意見を踏まえ、主な取組を分けて記載します 【修正前】・延長保育・一時預かり・病児保育・こども誰でも通園制度などの保育サービスや、放課後児童クラブ等の充実 【修正後】・延長保育・一時預かり・病児保育・こども誰でも通園制度などの多様な保育サービスの実施 ・放課後児童クラブの充実

分科会意見に基づく修正箇所一覧

No.	分野	基本 施策	施策	意見	対応
38	3	2	—	目指す姿の「全てのこどもが『自分らしくいていい』と感じられ、」は、こども若者会議の言葉なのか、大人が作った言葉なのか。こどもが言わない言葉だと感じたので気になった。こどもが言うとうと自己肯定感が低いこどもが安心した時に使う言葉の印象。この言葉をこどもが嬉しく思うのか、気になった。	ご意見を踏まえ、目指す姿を修正します。 【修正前】 全てのこどもが「自分らしくいていい」と感じられ、のびのびと育つことができるまちになっています 【修正後】 こどもが心から安心でき、取り巻く全ての世代の人が幸せを実感できるまちになっています
39	3	2	—	政策の背景の「こどもが幸せに暮らすまちになるために必要だと思うサポート」の1位がいじめで3位が自殺。1位と3位に対する取組はどのように対応しているか、一目で分かるようになっているとよい。	ここの政策の背景では、「こどもの意見として「居場所」の重要性が高い」ということに焦点をあてたものであるため、ご意見を踏まえ、政策の背景と背景に記載の表を修正します。 【政策の背景：修正前】 天候や気温に左右されずにこどもが安心して遊べる環境の確保が課題となっています。また、障がいの有無に関わらず、共に学んだり、遊んだりすることができるインクルーシブな環境への関心も高まっているため、全てのこども・若者が安心して過ごせる居場所づくりの整備が求められています。 【政策の背景：修正後】 天候や気温に左右されず、また障がいの有無に関わらず、全てのこどもが安心して遊べる環境へのニーズが高まっています。また、こどもを対象とした意識調査では、幸せに暮らせるまちづくりには「こどもの居場所」が重要との意見が多く寄せられました。全てのこども・若者が安心して過ごせる遊び場と居場所の整備を進めていく必要があります。
40	3	2	—	こどもの意見がしっかり反映されていることが見て分かれると、こどもがアンケートに答える意識も上がると思うので、記載の方法について工夫するとよい。	ご意見を踏まえ、目指す姿と主な取組を修正します。 【目指す姿：修正前】 ・こどもの意見が大切にされ、まちづくりに生かされています 【目指す姿：修正後】 ・こどもの意見を聞き、施策や事業にこどもの視点を取り入れた「こどもにやさしいまち」になっています 【主な取組：修正前】 ・児童虐待やDVへの対応、若者相談なども含め、専門職による切れ目のない総合的な相談体制の充実 ・虐待や不登校等により居場所のないこども・若者の居場所の拡充 【主な取組：修正後】 ・児童虐待やDV、若者相談なども含め、専門職による切れ目のない総合的な相談体制の充実 ・いじめや不登校等により居場所のないこども・若者の居場所の拡充
41	3	2	—	政策の背景に「特別な支援を要するこども・若者の増加」とあるが、外国籍の「言葉」の問題も含めて記載してもらえるとよい。	ご意見を踏まえ、政策の背景を修正するとともに、施策(2)「特別な支援を要するこども・若者支援の充実」の主な取組に以下を追加します。 【修正前】 特別な支援を要するこども・若者が増加しており、支援の充実が求められています。発達に不安を抱えるこどもや虐待・不登校などにより家庭や学校に居場所のないこども・若者への支援、ヤングケアラーやひきこもり等への対応など、多様化・複雑化するニーズに応じた支援体制の構築が必要です。 【修正後】 発達の不安や虐待、いじめ、不登校、ヤングケアラー、ひきこもり、外国籍の子どもの日本語対応など、子ども・若者が抱える課題は多様化・複雑化しています。特別な支援を要するこども・若者が増加する中、誰一人取り残さないよう、個々のニーズに応じた支援体制の構築が求められています。 【主な取組の追加】 ・外国人児童生徒支援員等による支援や初期支援教室との接続強化など、支援体制の充実

分科会意見に基づく修正箇所一覧

No.	分野	基本 施策	施策	意見	対応
42	3	3	3	主な取組の順番については「・中学生地域リーダー養成講座等による次世代リーダーの育成」を最初にもってきたほうが、中学から高校と対象者順になるので、読みやすい。中学生から高校・大学生まで、さまざまな取組を行っていく中で、磐田を愛してくれるこどもが増えていくような文脈になるとよい。	ご意見を踏まえ、主な取組の順番を修正し、「中学生地域リーダー養成講座等による次世代リーダーの育成」を1点目として記載します。
43	3	3	—	共創への取組2点目「子育ての悩みは一人で抱え込まず、各種講座に参加して保護者同士でつながろう」については、「各種講座に参加して」とあると、それだけかと感じてしまう。講座には敷居が高くて行けないと感じる人もいると思うので、もっと広く悩みを抱え込まないでつながれるということが分かるような表現だとよい。	ご意見を踏まえ、共創への取組を修正します。 【修正前】子育ての悩みは一人で抱え込まず、各種講座に参加して保護者同士でつながろう 【修正後】身近な地域行事や各種講座等に参加して保護者同士でつながろう
44	3	4	—	指標「学校に対する満足度」については、現状値89.0％に対して、目標値90％とあるが、もう少し思い切った目標設定でも良いのではないか。	ご意見を踏まえ、指標の目標値を修正します。 【修正前】90％ 【修正後】94％
45	3	4	—	政策の背景の一つ目の表題が「時代の変化に対応した教育の推進」となっているが、ここの表題を「こどもたちを取り巻く環境の多様化（もしくは変化）」にした方がよい。その対応として、さまざまな変化に対応した教育としてAIやデジタルだけでなく探究的な学びや体験を重視した教育を推進していくとなるので、市民が思っている「生きる力」と記載内容に対しての違和感がなくなると思う。	ご意見を踏まえ、政策の背景の表題（1つ目と2つ目）を修正します。 【修正前】時代の変化に対応した教育の推進 【修正後】こどもたちを取り巻く環境の変化 【修正前】こどもたちを取り巻く環境の多様化 【修正後】不登校や外国人児童生徒数等の増加
46	3	4	—	政策の背景「こどもたちを取り巻く環境の多様化」については、「支援を必要とする外国人児童生徒も多くいます」とあると、外国籍だけの話に見えてしまうので、表現の仕方を工夫してほしい。	ご意見を踏まえ、政策の背景を修正します。 【修正前】 表題：こどもたちを取り巻く環境の変化 本文：こどもたちを取り巻く環境は多様化し、不登校児童生徒数は高止まり傾向にあるとともに、支援を必要とする外国人児童生徒も多くいます。 一人ひとりを大切にした教育の充実に向け、「個」に応じたきめ細かな支援体制の確立が求められています。 【修正後】 表題：不登校や外国人児童生徒数等の増加 本文：不登校児童生徒数は高止まり傾向にあるとともに、外国人児童生徒数は年々増加するなど、支援を必要とする児童生徒数は増えています。 一人ひとりを大切にした教育の充実に向け、「個」に応じたきめ細かな支援体制の確立が求められています。
47	3	4	1	英語やAIなどにより力がつく部分もあるが、「生きる力」とは自然体験・農業などの取組や人と触れ合う中で培われるので、そういった教育を大事にしてもらいたい。	ご意見を踏まえ、主な取組を修正します。 【修正前】探究的な学習の充実と課題解決型学習の推進 【修正後】地域や様々な「人、もの、こと」との出会いによる探究的な学びの充実と課題解決学習の推進

分科会意見に基づく修正箇所一覧

No.	分野	基本 施策	施策	意見	対応
48	3	4	—	共創への取組の1点目に「園や学校の教育方針を・・・」とあるが、急に「園」がでてくる印象を受けるので、表現の仕方を検討してほしい。	ご意見を踏まえ、共創への取組を修正します。 【修正前】 ・園や学校の教育方針を理解し、家庭でも学ぶ習慣を育てよう ・こどもの変化に気づいたら、園や学校、関係機関に相談しよう ・地域住民は学校ボランティアや体験活動の指導者として園や学校に関わろう 【修正後】 ・学校の教育方針を理解し、家庭でも学ぶ習慣を育てよう ・こどもの変化に気づいたら、学校や関係機関に相談しよう ・地域住民は学校ボランティアや体験活動の指導者として学校に関わろう
49	3	5	—	指標「こどもが地域の人たちと学校や地域で関わっていると感じる教員の割合」とあるが、教員の割合でよいのか。別に良い指標があれば変更したほうがよい。	ご意見を踏まえ、指標を変更します。 【修正前】 ・こどもが地域の人たちと学校や地域で関わっていると感じる教員の割合 【修正後】 ・今住んでいる地域の「人、もの、こと」について関心がある児童の割合 現状値 (R7)72.6% 目標値 (R12)80.0%
50	3	5	—	現在の指標2つとも、もっと目標値を思い切った設定にできないか。	ご意見を踏まえ、指標の目標値を修正します。 ※「こどもが地域の人たちと学校や地域で関わっていると感じる教員の割合」の指標は「今住んでいる地域の「人、もの、こと」について関心がある児童の割合」に修正済のため、「放課後や休日にスポーツや文化活動に親しむ中学生の割合」の目標値を修正します。 【修正前】88% 【修正後】90%
51	3	5	2	コミュニティ・スクールについては、もっと今まで以上に活性化させていくイメージを持った方がよい。地域と一緒に学校をつくっていく。今の記載だと、今まで通りに感じる。	ご意見を踏まえ、主な取組を修正します。 【修正前】 ・地域と共に創る開かれた園・学校づくりの推進 ・CSD（コミュニティ・スクール・ディレクター）・CSC（コーディネーター）の配置 ・学校運営協議会（コミュニティ・スクール）における教育課題解決への取組推進 ・学校支援ボランティア活動や放課後子供教室などの地域学校協働活動の推進 【修正後】 ・学校運営協議会における熟議の活性化（児童生徒や教職員の参画等）による教育課題解決の推進 ・学校支援ボランティア活動や放課後こども教室などの地域学校協働活動の推進 ・コミュニティ・スクール・ディレクター（CSD）およびコーディネーター（CSC）の配置と、資質向上に向けた研修の充実
52	3	5	2	背景「地域に開かれた学校づくり」について、児童参加型はとても良い取組だと思っている。このことをもう少し盛り込んだ方が良いと思う。取組(2)「地域に開かれた園・学校づくりの推進」に、児童の参加を促すということを書いた方が良いと思う。	
53	4	1	1	様々な企業が、見守り支援や終活支援などを行っているので、市としてサービスを繋げていけるようになるとうい。	市内の民間事業者が提供するサービスと連携し、ACP（人生会議）の普及、高齢者等の見守りを進めたいと考えています。 いただいたご意見を踏まえ、共創の取組の主体を修正します。 【修正前】地域・福祉団体等 【修正後】地域・福祉団体・事業者等

分科会意見に基づく修正箇所一覧

No.	分野	基本 施策	施策	意見	対応
54	4	5	2	眼科や歯科医は足りているが、産婦人科が少ないイメージがある。無痛分娩をしたくて浜松に行くこともあると聞いたことがある。病院が充実していると安心につながり、磐田に住みたいという人が増えると思う。	市内には出産できる病院が2病院あり、いずれも無痛分娩にも対応しています。市が医療機関を増やすことは難しいですが、現体制の維持と、安心して出産できる病院が市内にあることの周知に努めていきたいと考えています。 いただいたご意見を踏まえ、主な取組を修正します。 【修正前】市民団体等と連携した地域医療や人生会議（ACP）の啓発 【修正後】市民団体等と連携した地域医療や人生会議（ACP）の周知・啓発
55	4	5	—	地域医療の体制は充実しているイメージがあったが、さらに充実する必要があるのか。基本政策2や4の話になるかもしれないが、病院に行かなくて済むように対策していく方が重要ではないか。	今後さらに高齢化が進むことや、高齢者のみ世帯が増加している状況を鑑みると、長期的な視点で在宅医療を含めた広域的な地域連携体制の構築などを進めていく必要があると認識しています。また、委員ご指摘のとおり、こうした準備と並行して、生活習慣病予防や介護予防の取組を推進することで、健康寿命の延伸を図ることも大切であると考えています。 いただいたご意見を踏まえ、政策の背景を修正します。 【修正前】
56	4	5	—	全国的に総合病院の収支は厳しく、市立総合病院も相当厳しいと思う。高度な医療をすればするほど材料費の高騰により、収益より経費の伸びが大きく赤字の状況。今年の診療報酬改定で少し改善される見込みだが、赤字が解消されるほどの改定ではない。医療費が上がれば社会保障費も増えていくことになる。そう考えると、やはり、できるだけ長く働いたり、活躍できる機会を増やし、心身ともに元気な状態を維持する取組に力を入れてほしい。	全国的に医師の地域偏在・診療科偏在が深刻化し、本市においても市内医療機関の医師の高齢化により、将来的な医療資源不足が懸念されています。医師会や関係機関との連携を強化しながら、在宅医療を含む持続可能な地域医療体制を構築していく必要があります。 【修正後】 医療の地域偏在や医師の高齢化など、本市においても将来的な医療資源不足が懸念されています。医師会や関係機関との連携を強化しながら、在宅医療を含む持続可能な地域医療体制を構築していく必要があります。併せて、生活習慣病予防や介護予防など、健康寿命延伸の取組を推進することも重要です。
57	5	1	1	主な取組5点目に、「ハザードマップの周知や地域防災訓練の実施などによる防災意識の啓発」とあるが、ハザードマップを周知することは防災意識を啓発するだけではなく、いざという時にどう避難するか、ということが主目的。啓発は削除し、「ハザードマップの周知や地域防災訓練の実施」のみでよいのではないか。	ご意見を踏まえ、主な取組を修正します。 【修正前】ハザードマップの周知や地域防災訓練の実施などによる防災意識の啓発 【修正後】ハザードマップの周知や地域防災訓練等の実施
58	5	1	2	主な取組4点目「市民一人ひとりの「わたしの避難計画」の普及促進」は「市民一人ひとりへの「わたしの避難計画」の普及促進」にしたほうがよい。	ご意見を踏まえ、主な取組を修正します。 【修正前】市民一人ひとりの「わたしの避難計画」の普及促進 【修正後】市民一人ひとりへの「わたしの避難計画」の普及促進
59	5	1	—	共創への取組の中に、「・食料・飲料水（7日分）、携帯トイレなど、家庭内防災対策を実践しよう」とあるが、携帯トイレも7日分は必要であるため、「・食料・飲料水・携帯トイレ（7日分）など、家庭内防災対策を実践しよう」にしたほうがよい。	ご意見を踏まえ共創への取組を修正します。 【修正前】食料・飲料水（7日分）、携帯トイレなど、家庭内防災対策を実践しよう 【修正後】食料・飲料水・携帯トイレ（各7日分）など、家庭内防災対策を実践しよう
60	5	3	—	Topics2点目だけ「相談してください」という呼びかけ表現になっている。他は、「～しています」と言い切った表現になっているため、他の表現にあわせて再度検討してほしい。	ご意見を踏まえ、Topicsを修正します。 【修正前】困りごとや不安を感じた時は、市役所本庁舎1階の「市民相談センター」にご相談ください！ 【修正後】困りごとや不安を感じた時の総合相談窓口として「市民相談センター」を設置しています！

分科会意見に基づく修正箇所一覧

No.	分野	基本 施策	施策	意見	対応
61	5	3	2	背景「交通事故発生件数」のところについて、「～ハード・ソフトの両面から整備」と記載してあるが、「ソフトの整備」という表現は違和感。「整備」を「環境整備」などに表現変更するとよい。	ご意見を踏まえ、政策の背景を修正します。 【修正前】 交通事故の発生件数は、年々減少傾向にあります。静岡県は、全国でも事故発生件数が多く、本市においても交通事故防止対策が課題となっています。 高齢ドライバーによる事故防止対策や、児童生徒の通学路の安全対策、交通マナーの啓発などハード・ソフトの両面から整備を進める必要があります。 【修正後】 交通事故の発生件数は、年々減少傾向にあります。静岡県は、全国でも事故発生件数が多く、本市においても交通事故防止対策が課題となっています。 高齢ドライバーによる事故防止対策や、児童生徒の通学路の安全対策、交通マナーの啓発など、ハード面の環境整備とソフト面の対策を両輪で進める必要があります。
62	5	3	2	主な取組1点目に「交通安全教室や交通安全運動など地域に根差した交通安全啓発活動の実施」とあるが、1文の中に「交通安全」が3回出るため、最後の「交通安全」は削除。	ご意見を踏まえ、主な取組を修正します。 【修正前】交通安全教室や交通安全運動など地域に根差した交通安全啓発活動の実施 【修正後】交通安全教室や交通安全運動など地域に根差した啓発活動の推進
63	5	3	2	主な取組5点目「自転車乗用ヘルメットの着用推進」の場合は、市民の行動変容を促すものであるため、「推進」ではなく「促進」にしたほうがよい	ご意見を踏まえ、主な取組を修正します。 【修正前】自転車乗用ヘルメットの着用推進 【修正後】自転車乗用ヘルメット着用促進に向けた啓発活動の推進
64	5	3	3	施策（3）の施策名が「消費生活トラブル防止の推進」とあるが、「消費生活トラブルの防止」は昔の表現のイメージ。「トラブルの防止」ではなく、第2次後期計画に載っている「消費生活対策の推進」のほうがよい。元々はトラブルの相談の防止が発端なので間違いではないが、検討してもらいたい。	ご意見を踏まえ、施策（3）の施策名を修正します。 【修正前】消費生活トラブル防止の推進 【修正後】消費生活対策の推進
65	5	3	—	共創への取組の2点目「全ての人が交通事故を～」とあるが、こだけ主語があるので、「全ての人が」はなくてよい。	ご意見を踏まえ、共創への取組を修正します。 【修正前】全ての人が交通事故を起こさない、遭わないように意識しよう 【修正後】交通事故を起こさない、遭わないように意識しよう
66	6	1	2	政策の背景「良好な景観の維持・形成」のところは、記載内容は良いが、表題が古い。景観については、文化庁も「維持」から「活用」に転換しているので、表題の表現をもう少し検討すべき。	ご意見を踏まえ、政策の背景の表題を修正します。 【修正前】良好な景観の維持・形成 【修正後】景観形成の重要性
67	6	1	2	施策（2）の施策名が「景観に配慮したまちづくりの推進」とあるが、景観の活用を意識した表現に変更したほうがよい。	ご意見を踏まえ、施策名を修正します。 【修正前】景観に配慮したまちづくりの推進 【修正後】景観を資源とするまちづくりの展開
68	6	1	2	主な取組1点目「観光地エリア景観計画の策定による地域資源を生かしたまちなみづくりの推進」は、「～まちなみの整備」のほうがすっきりしてよい。	ご意見を踏まえ、主な取組を修正します。 【修正前】観光地エリア景観計画の策定による地域資源を生かしたまちなみづくりの推進 【修正後】観光地エリア景観計画の策定による地域資源を生かしたまちなみの整備

分科会意見に基づく修正箇所一覧

No.	分野	基本 施策	施策	意見	対応
69	6	1	—	共創への取組で、事業者に対し、「・土地利用に関する法令を遵守しよう」とあるが、これは当たり前の話なので、専門性を生かしたまちづくりに関与してもらうような表現に変えたほうがよい。	ご意見を踏まえ、共創への取組を修正します。 【修正前】土地利用に関する法令を遵守しよう 【修正後】専門的知見を生かし地域特性やまちづくりの方針に沿った土地利用の提案をしよう
70	6	2	—	指標の「公共交通利用者数」について、目標値が「±0人」となっており、ほかのところと表記の仕方が異なるので、合わせたほうがよい。	ご意見を踏まえ、指標の目標値を修正します。 【修正前】±0人 【修正後】1,100,000人
71	6	2	3	「政策の背景」について。「地域公共交通の現状」のところの表題について、現状が課題という意味だと思うが、もっと適切な表現があれば、変更したほうが良い。	ご意見を踏まえ、政策の背景の表題を修正します。 【修正前】地域公共交通の現状 【修正後】公共交通等に対する満足度の低さ
72	6	3	3	背景の「空き家の解消」は間違い。空き家は問題じゃない。日本は新築主義なので、空き家となるのは必然。空き家の管理が問題であり、表題が合っていない。表題は「空き家の増加」でよい。	ご意見を踏まえ、政策の背景の表題を修正します。 【修正前】空き家の解消 【修正後】空き家の増加
73	6	3	3	主な取組3点目「空き家バンクの運営等、・・・」の「空き家バンクの運営等」は必要か。今やっていることの延長のように見えてしまうので、もっと広がりを持たせるために載せないほうがよい。	ご意見を踏まえ、主な取組を修正します。 【修正前】空き家バンクの運営等、空き家分野で不動産関係事業者が活躍しやすい環境の整備 【修正後】空き家分野で不動産関係事業者等が活躍しやすい環境の整備
74	6	3	3	現在は、空き家バンクを活用しないルートもトレンドになっている。小学校区には子育て世帯が入ってほしいので、地域の人を選別したりしているようなところもある。地区の人、PTAの人がやっている例もあるため、「空き家分野で不動産関係事業者が活躍しやすい環境の整備」の不動産関係事業者に「等」を入れた方がいい。空き家バンクは空き家バンクで必要ではあるので、共創の取組にあるのはいいと思う。	
75	6	3	4	背景の「公園の整備」も表題に違和感がある。背景として辻褄が合う表現に見直すべき。	ご意見を踏まえ、政策の背景の表題を修正します。 【修正前】公園の整備 【修正後】公園施設の老朽化
76	6	4	—	耐震化率について、指標には避難所までの耐震化率4.8%を46.8%にすると掲げているが、政策の背景では、水道管路全体の耐震化率25.4%と記載があり、一見すると整合性が取れていない気がするので、避難所の管路と全体の耐震化率とどちらがいいのか再度検討すべき。	ご意見を踏まえ、混乱を避けるため、背景に書かれていた「水道管管路全体の耐震化率（25.4%）」の記載は削除します。
77	6	5	—	「自然観察会に参加した人数」は指標としてどうかと思う。この政策では、温室効果ガスとごみの資源化率の大きなアウトカム指標を設定しているため、これでもよいと思うが、再度検討を。	ご指摘のとおり、「自然観察会に参加した人数」は総合計画に掲載するのに適した指標ではないと判断し、いただいたご意見を参考に「自然観察会に参加した人数」の指標を削除します。

分科会意見に基づく修正箇所一覧

No.	分野	基本 施策	施策	意見	対応
78	6	5	2	リード文は「多様な生態系を守るため、市民や事業者、団体等との連携により、豊かな自然環境の保全・継承を目指します。」のほうがスッキリしてよい。	ご意見を踏まえ、施策（２）のリード文を修正します。 【修正前】 多様な生態系を守るため、市民や事業者、団体等との連携により自然環境を保全するなど、豊かな自然環境の継承を目指します。 【修正後】 多様な生態系を守るため、市民や事業者、団体等との連携により、豊かな自然環境の保全・継承を目指します。
79	7	1	1	施策（１）の施策名に、「まちづくり」が入っているから違和感があるのではないか。「共創によるまちづくりの推進」から「共創」をベースにした効率的な行政の推進」みたいな表現に修正するとよいのではないか。	ご意見を踏まえ、施策名を修正します。 【修正前】共創によるまちづくりの推進 【修正後】共創による行政運営の推進
80	7	1	—	基本政策名が「効率的・効果的な行政運営の推進」で「効率的」が先になっているが、施策の一番目が「共創によるまちづくりの推進」となっており、「効率的」であれば（３）が一番上ではないかと思う。	ご意見を踏まえ、施策の順番を修正します。 【修正前】 （１）共創による行政運営の推進 （２）広域行政・広域連携の推進 （３）行政DXの推進 【修正後】 （１）共創による行政運営の推進 （２）行政DXの推進 （３）広域行政・広域連携の推進
81	7	2	2	主な取組３点目に、「時代に合わせた補助金の見直し」とあるが、少し分かりにくく感じるので、表現を検討してほしい。	ご意見を踏まえ、主な取組を修正します。 【修正前】時代に合わせた補助金の見直しや、市債の適正な管理 【修正後】社会経済情勢と市民ニーズに合わせた補助金の見直しや、市債の適正な管理
82	7	3	—	「Topics」の一つ目が、外部人材の話だと違和感があるので、順番を入れ替えた方がよい。	委員ご指摘のとおり、基本施策は「機動的な組織体制の構築と人材の育成」のため、ご意見を踏まえ、順番の入れ替えを行い職員のウェルビーイング向上を上段とします。
83	7	3	1	基本政策名が「機動的な組織体制の構築と人材の育成」となっており、施策（１）の「組織体制の構築」は地域おこし協力隊の活用がメインではないと思うので、順番を検討したほうがよい。	委員ご指摘のとおり、「組織体制の構築」が施策（１）の本質であり、「外部人材の活用」（地域おこし協力隊等）はそれを支える手段の一つに過ぎませんが、現行リード文は「外部人材の活用」が先に来ているため、ご意見を踏まえ、施策（１）のリード文を修正します。 【修正前】 将来想定されうる多様な行政課題に的確、迅速に対応するため、積極的な外部人材の活用やプロジェクトチームによる連携も含め、効果的かつ効率的な組織体制の構築を進めます。 【修正後】 将来想定されうる多様な行政課題に的確、迅速に対応するため、プロジェクトチームなどの組織横断的な連携や外部人材の積極的な活用も含め、効果的かつ効率的な組織体制の構築を進めます。

分科会意見に基づく修正箇所一覧

No.	分野	基本 施策	施策	意見	対応
84	7	3	2	政策の背景に、「時代の変化に対応した職員研修」の写真があるが、何をしているのか分からないので別のタイトルにするか、写真を変更した方がよい。	国際感覚の醸成や多面的な政策形成について学ぶことを目的に、令和7年度から実施している「海外派遣研修」の写真に差替えし、それに伴い写真のキャプションを修正します。 【修正前】時代の変化に対応した職員研修 【修正後】多面的な政策形成を学ぶ海外派遣研修
85	7	3	2	人材育成が非常に重要であり、施策（2）では自律型の職員の育成を目指すとなっている。主な取組2点目で研修について触れているが、この表現からは自律型の職員を育成していくという要素があまり感じられないので、書き方や表現をもう少し検討してほしい。	ご意見を踏まえ、主な取組を修正します。 【修正前】目指すべき職員像に応じた研修機会の充実 【修正後】自律的なキャリア形成の支援と時代の変化に対応した職員能力の開発
86	7	3	3	大学生の就活において、公務員や銀行の人气が落ちてきている。他市では、兼業を広く認めている自治体もある。副業や兼業、オフィスカジュアルの導入なども含め、柔軟に働けることをもう少し示せるとよい。	主な取組2点目に「オフィスカジュアル」の記載を追加し柔軟に働ける職場環境をさらに表現します。兼業については、地域課題の解決、市のスポーツ・文化・歴史の振興、学びの市政への還元を目指して進めていきたいと考えており、「働きやすい職場環境」を主目的としているものではないので記載は見送りたいと考えます。 ご意見を踏まえ、主な取組を修正します。 【修正前】 ・時差勤務やテレワークなど柔軟な働き方の推進 ・育児や介護制度を利用する職員を職場全体で支援する雰囲気醸成 【修正後】 ・時差勤務やテレワーク、オフィスカジュアルなど柔軟な働き方の推進 ・育児や介護制度を利用する職員を職場全体で支援する制度の創設